

随意契約理由書

件 名	令和6年度三宮駅周辺デッキ詳細設計その他業務
契 約 の 相 手 方	中央復建・安井設計・JRNC設計共同体
根 拠 法 令	地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続きの特例を定める政令第11条第1項第1号
<p>随 意 契 約 の 理 由</p> <p>本業務は、令和4～5年度に実施した「新バスターミナル周辺デッキ詳細設計その他業務」及び「JR新駅ビル周辺デッキ詳細設計その他業務」を元に行う修正設計業務である。</p> <p>予備設計業者を決定するために実施した「三宮駅周辺歩行者デッキ設計競技(コンペ)」では、最優秀作品提案者を詳細設計業務の契約候補者とする旨の記載しており、それに則り、過年度の詳細設計では、最優秀提案者である中央復建・安井設計・JRNC設計共同体と随意契約を行っていた。</p> <p>税関線横断デッキについては、JR新駅ビル敷地内で地下躯体・デッキ上下部工を施工し、地上・地下においてJR新駅ビルと接続する計画であり、JR新駅ビルと綿密な調整を図ったうえで施工計画を検討し設計をとりまとめる必要がある。しかしながら令和5年度はJRから与条件が示されず仮定条件を基に検討・とりまとめを行っていたものであるが、令和6年度はJRから必要な与条件が示される予定となっていることから、修正設計を行う必要がある。また、全区間において屋根を設置する方針で設計をとりまとめていたが、令和5年度終盤においてほぼ全面的に屋根を設置しないことの庁内意思決定がなされたため、修正設計を行う必要がある。JR三ノ宮新駅ビル南デッキについては、地上からデッキレベル(3F)を繋ぐ中間層を設置する計画としており、地上(1F)～中間層(2F)～デッキ(3F)の昇降施設は、設計当初は有効幅員1.0mの上下エスカレーターを設置する方向で検討を進めていたが、電気容量の関係上課題が大きく、階段と上りエスカレーターを設置する方針で設計をとりまとめていたところ、令和5年度終盤において上下エスカレーターにすることの庁内意思決定がなされたため、有効幅員60cmのエスカレーターを設置することで修正設計を行う必要がある。さらに、新バスターミナル周辺デッキについては、全区間において屋根を設置する方針で設計をとりまとめていたが、令和5年度終盤において屋根の一部を取りやめることとの庁内意思決定がなされたため、修正設計を行う必要がある。</p> <p>これら3つのデッキは、令和9年度の新バスターミナル完成や令和11年度のJR新駅ビル開業との同時供用が必要であり、全体工程を踏まえると、新バスターミナル周辺デッキ及びJR三ノ宮新駅ビルについては令和6年度早期の修正設計完了を、税関線横断デッキについては令和6年度半ばには概算工事費を整理するとともに令和6年度中に修正設計完了をする必要があることから、過年度の詳細設計業務を受注していた請負人でなければ、業務内容や設計条件、現地の状況等に精通しておらず、本市が求める工程を遵守して業務を遂行することが困難である。</p> <p>以上より、中央復建・安井設計・JRNC設計共同体と随意契約を締結する。</p>	
担 当 部 署 (問 合 せ 先)	都市局都心再整備本部都心再整備部都心三宮再整備課 藤川・立川 (電話番号 078-984-0244)